

第10期介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の概要

名称		(第9期)介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	(第10期)介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
目的 (調査票の作成段階での想定)	地域診断 見える化システム - 要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握すること、地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定すること - 介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用すること		
	調査対象	要介護1～5以外の高齢者	
調査項目数		必須項目35問 オプション項目29問	必須項目35問 オプション項目30問
設問の内容	「リスクの発生状況」の把握	基本チェックリストで設定したものの「虚弱」高齢者を把握する項目	- 運動器の機能低下 - 低栄養の傾向 - 口腔機能の低下 - 閉じこもり傾向 - 認知機能の低下
		その他	IADL／転倒リスク
	「社会資源」等の把握	- ボランティア等への参加頻度 - たすけあいの状況 - 地域づくりへの参加意向 - 主観的幸福感 等	- ボランティア等への参加頻度 - たすけあいの状況 - 地域づくりの場への参加意向 (担い手として／参加者として) ・ 就労の状況 ・ 主観的幸福感 等
	その他	・認知症にかかる相談窓口の認知度	
その他			・調査結果と個人が照合できるかたちの調査票を提示
標準的な実施方法		「実施の手引き」「活用の手引き」の提示	
見える化システムへの登録		あり(標準的な実施方法により得られた必須項目、オプション項目への回答)	